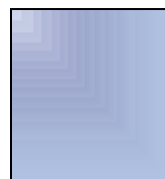
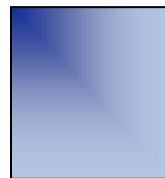
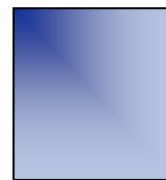
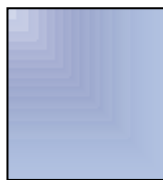


(様式：15)

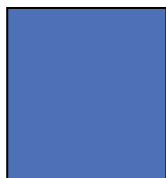
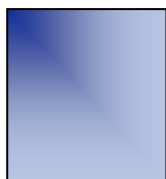
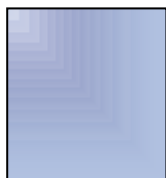


紺藤織物 株式会社

2021 年度 環境経営レポート

【 2020 年 9 月～2021 年 8 月号】

作成日 ： 2021 年 11 月 30 日



目 次

ご挨拶	P 2
環境経営方針	P 3
1. 事業者活動の概要	P 4
2. 認証・登録の対象組織・活動	P 5
3. 組織体制	P 5
4. 環境経営目標とその実績	P 6
5. 2021年度 環境経営計画の具体的な取り組みと評価、 および次年度の取組み	P 7
6. 第6期中期環境経営目標計画	P 13
7. 2022年度 環境経営活動の取り組み計画	P 14
8. 環境関連法規制の順守状況	P 15
9. 2021年度代表者による見直し・指示	P 15

ご 挨 拶

紺藤織物株式会社は事業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献していきます。私たちは、法令を遵守することはもとより、多様化するステークホルダーの期待や要望に応えるために、積極的なコミュニケーションを図り、私たちに何ができるかを、常に考え、社会的責任を果たす活動を自主的、かつ積極的に推進していきます。

当社の環境活動においては、「母なる湖」琵琶湖を世代を超えて共有すべき財産として守り伝えていくため、湖と企業活動の共生をめざし、エコアクション 21 活動を柱に、一層の環境負荷低減に努め、自然と人類の共存を図る取り組みを行っていきます。

紺藤織物株式会社

代表取締役社長 山 川 藤 治



環 境 経 営 方 針

当社の産業資材用織物及び撚糸コードの設計・開発、製造及び販売活動の中で、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、エコアクション 21 環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境経営活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
 - (1) 脱地球温暖化社会のための省エネルギーとして、電気使用量を削減します。
 - (2) 循環型社会のため 単純焼却の廃棄物を削減します。
 - (3) 省資源のため生産ロスを低減します。
 - (4) 水資源の節約として 上水を削減します。
 - (5) 作業環境を全員参加の 5 S 改善活動で進めます。
 - (6) 化学物質の適切管理に努めます。
 - (7) 環境に配慮した織物、撚糸コードの積極的な提案（設計・開発）を進めます。
 - (8) 事業所周辺の水辺の環境や生き物の保全活動を行います。
4. 全従業員にこの環境経営方針を周知します。

制 定 日：2018 年 9 月 1 日

紺 藤 織 物 株 式 会 社

代表取締役社長 山川 藤 治

1. 事業者活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

事業者名 紺 藤 織 物 株 式 会 社
代表取締役社長 山川 藤治

(2) 所在地

滋賀県高島市新旭町藁園 1498 番地

(3) 環境保全関係の責任者及び推進者連絡先

責任者 取締役 総務管理部長 : 中村 宏幸 TEL : 0740-25-3431
担当者 取締役 技術部長 : 福田 藤博 TEL : 0740-25-3431
技術部 : 三浦 和史 TEL : 0740-25-3431

(4) 事業内容

産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売

(5) 事業年度

9 月 1 日～8 月 31 日

(6) 事業規模

活動規模	単 位	2019年度	2020年度	2021年度
生産重量	t	2,971	2,463	2,627
売上高	百万円	1,235	1,019	1,073
従業員	人	89	89	88
床面積	m ²	13,709	13,709	13,709

(7) 主な環境負荷の実績

項 目	単 位	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,403,335	1,150,391	1,344,317
廃棄物排出量	kg	145,908	156,519	169,950
一般廃棄物	kg	47,968	48,699	49,130
産業廃棄物	kg	97,940	107,820	120,820
水使用量	m ³	766,180	667,396	731,210
上水	m ³	580	396	410
地下水	m ³	765,600	667,000	730,800

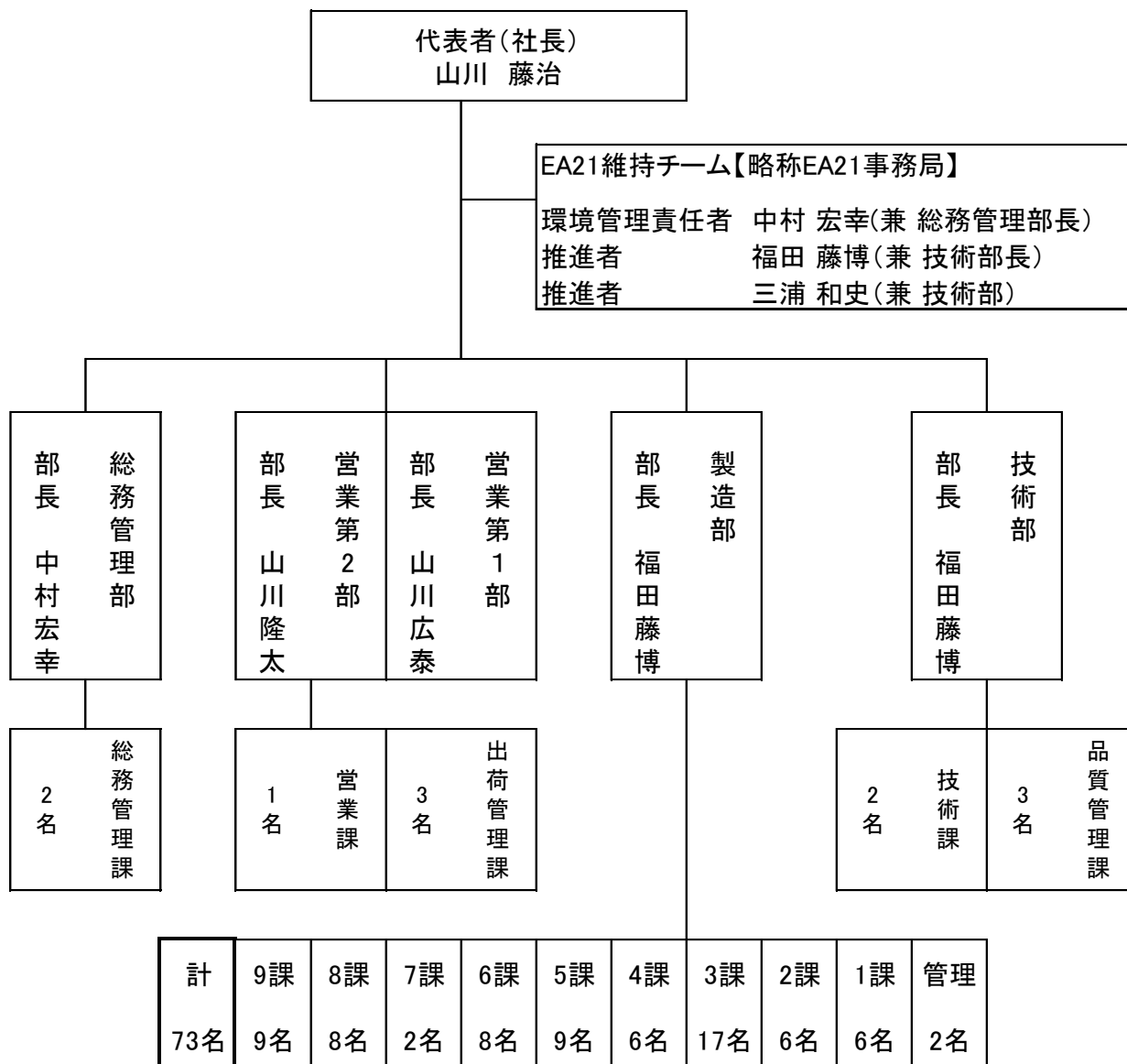
2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：紺藤織物株式会社（全組織・全活動対象）

活動：産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売



3. 組織体制



4. 環境経営目標とその実績

今期（2021 年度（‘20/9～’ 21/8））は第 5 中期環境目標計画の 3 期目（最終期）となります。
第 5 中期環境目標の基準年度は 2017 年度（‘16/9～’ 17/8）としています。

項目	年度	2017年度(基準年度)	2019年度	2020年度	2021年度	
		(‘16/9～’ 17/8)	(‘18/9～’ 19/8)	(‘19/9～’ 20/8)	(‘20/9～’ 21/8)	
		実績	実績	実績	目標	実績
購入電力に起因する二酸化炭素排出量の出荷加工料当たり (kg-CO2/千円)		1.302	1.339	1.313	1.282	1.313
単純焼却廃棄物に起因する二酸化炭素排出量の加工料当たり (kg-CO2/円)		20.48	18.48	20.07	18.02	19.10
上水量 (m ³ /年)		647.0	580.0	398.0	562.9	421.5
5S改善活動 (点/年以上)		61.7	63.5	65.4	65.0	65.2
ロス率の低減 (%)		6.08	6.34	7.17	6.05	7.50
化学物質の適正管理 (AK-35 (PRTR 法非該当)) 使用量計測		12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施	12回/年 計測実施済
環境に配慮した織物・燃系コードの提案 (件/年以上)		2018年度実績 4件	5件	3件	5件以上	3件
環境保全活動への参加		2018年度実績 28名	8名	13名	31名	23名

【補足説明】

1. 第 5 次中期環境目標（2019 年度－2021 年度）に使用する原単位は、出荷加工料（円）を分母としています。
2. 購入電力に起因する二酸化炭素排出量の排出係数は関西電力 2016 年度調整後排出係数 0.493kg-CO2/kWh を使用しています。
3. 水資源は、計測上の問題から上水のみを目標としています。地下水は令和 3 年 7 月 15 日に水質分析を実施し、第 3 者機関より水質汚濁環境基準に合致している証明を頂いております。
4. 化学物質の管理において、当社では PRTR 法に基づく物質を一切使用しておらず、検査時に使用する有機溶剤（汚れ落とし）の AK-35 の適正管理に努めます。
5. 産業資材用織物、燃系コードにおいて、環境に配慮した設計・開発の提案を積極的に行い、提案件数を目標とします。
6. 生物多様性に関する取組みは、当地域で開催される環境保全活動に積極的に参加し、参加延べ人数としています。

5. 2021年度 環境経営計画の具体的な取り組みと評価および次年度の取組み

取り組み	結 果
1. 電気量の削減・・・出荷加工料対比 (1) 製造部全体の稼働率 UP (2) 織機、送風機等のVベルトの切り替え 継続 (3) コンプレッサーの適性運用 (4) 冷暖房の適性運用及びメンテナンス強化 (5) 工場エアコン化の管理強化	【評価結果 △】 目標値 : 1.282kg-CO2/千円 以下 実績値 : 1.313kg-CO2/千円 達成率 : 97.7% 下半期から回復基調が鮮明となり、納期対応で追われている状態となっている。急激な需要の揺れ戻しもあり、生産と出荷の均衡が崩れ、生産の平準化が出来ず電力使用効率は悪化した。上半期は在庫での出荷対応が多く、この項目での評価と実情との乖離が生じた。 【次年度の取組み】 生産計画の精度を上げ、機械に使用する電力を平準化に一層努める。評価方法も見直しを行う。
2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・出荷加工料対比 (1) 3Rの徹底（教育訓練） (2) 織物、燃糸の端末部のリサイクル化の周知徹底 (3) ゴミ袋使用量削減の見える化	【評価結果 ×】 目標値 : 18.02 kg-CO2/円 以下 実績値 : 19.10 kg-CO2/円 達成率 : 94.3% 生産の急激な回復と比例して単純廃棄物量が増加した。単純廃棄物量増加2%に対し出荷5%の伸びとなり数値的には問題ない。しかし、原単位のベースである出荷加工料と実生産の時間的な差による評価に乖離はある。 【次年度の取組み】 織物、燃糸の端末、余尺のリサイクル化を徹底していく。
3. 上水量の削減 (1) 使用実績を掲示する (2) 節水啓蒙シートを掲示する (3) 10月-2月節水強化期間設定 (4) 冬期水道管の点検強化	【評価結果 ○】 目標値 : 563m³/年 以下 実績値 : 421.5m³/年 達成率 : 133.5% 昨年はコロナ休業日数も多く大幅な削減となっていたが、今期は稼働日も戻り使用量も増加傾向だが、基準年度と比較し大きく削減できている。節水型の器具への改修が効いている。 【次年度の取組み】 この状況を維持したい。
4. 化学物質の適正管理 (1) AK-35（PRTR法非該当）の適正管理	【評価結果 ○】 適正管理 【次年度の取組み】 この状況を維持したい。

取り組み	結 果
5. 環境配慮した織物・燃系コードの提案 (1) 当社自らが設計・開発する提案 (2) 顧客のニーズを基にした設計・開発する提案	【評価結果 ×】 目標値 : 5 件以上 実績値 : 3 件 達成率 : 60.0% 自らが提案した案件が1件、顧客のニーズからの提案が2件となった。再生可能エネルギー関連等の提案であった。 コロナ禍影響により顧客とのコミュニケーションが取り難くなり、提案が出来なかった。 【次年度の取組み】 コロナ禍でこそ出来る提案を行っていく。
6. ロス率の低減・・・仕掛総計(生産量)対比 (1) ビーム巻反数の改善 (2) 捨て耳長さの削減(製品を特定する)	【評価結果 ×】 目標値 : 6.05%以下 実績値 : 7.50% 達成率 : 80.6% 停滞していた受注が急激に増加して、それに伴う段取り替えが大幅に増えたことによりロスが増加した。また、海外原系品の増加に伴い、不具合原系が急増している。原系サプライヤーにロス状況を報告し改善要求をしている。 【次年度の取組み】 自社要因ロスの究明を図り、さらなる改善に努める。
7. 5S改善活動による徹底率の向上…5Sチェックリスト (1) 4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進(毎月の全社会議で成果発表) (2) 改善提案提出 1 件以上/4 ヶ月/人の励行 (3) 5S レクチャー強化	【評価結果 ○】 目標値 : 65.0 点以上 実績値 : 65.2 点 達成率 : 100.3% コロナ禍により、新人改善活動発表、5S 理論のレクチャーが出来なかった。昨年より5S 原価低減会議の中断を継続している。個人改善や新人改善(レクチャーのみ)は継続し維持をしている。 【次年度の取組み】 コロナ禍の状況をみながら、全社的な会議、活動を再開していく。
8. 地域環境保全活動への参加 (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加	【評価結果 ×】 目標値 : 31 人以上参加 実績値 : 24 人参加 達成率 : 77.4% 以前に行っていた地域連携の環境活動が、コロナ影響により、ほとんどが中止となり残念な結果となった。 【次年度の取組み】 コロナ禍でも、自社で出来る活動を検討し、活動を行っていく。

※評価結果 ○ : 目標達成 △ : 目標達成率 95%以上 × : 目標達成率 95%未満

今期の取組みトピック

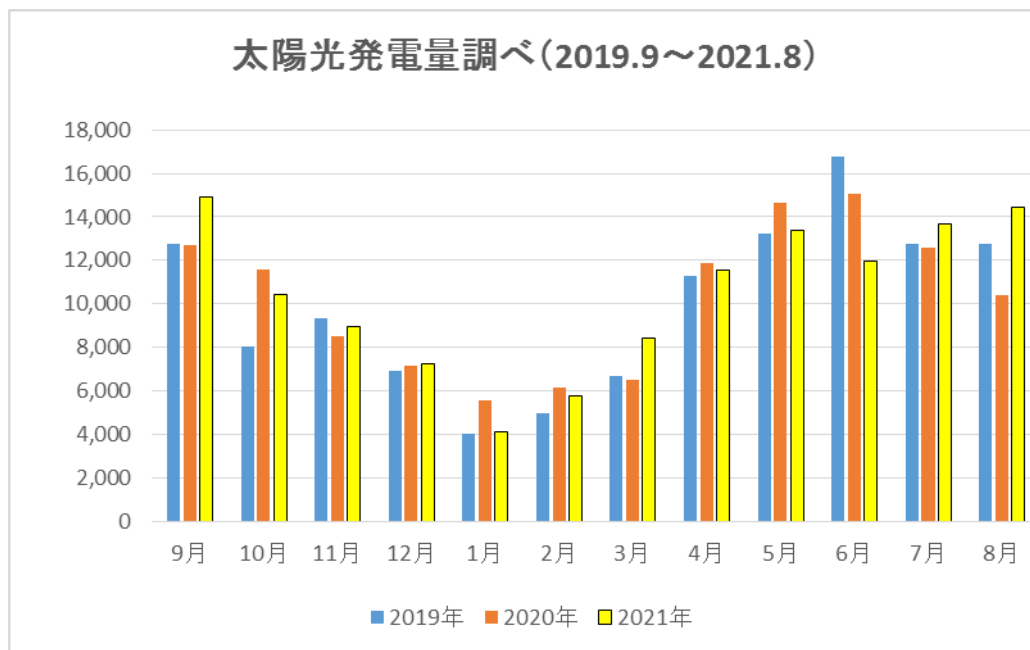
◆製造部第1課工場の改修工事

第1課工場は築40年を経過し、耐久性も考慮した天井の改修工事を行いました。これは、断熱材の更新などを行うことにより空調効率化を図る目的でも実施しました。また、照明器具の高効率LED化への切り替えを実施しました。



◆工場屋根太陽光発電設備実績

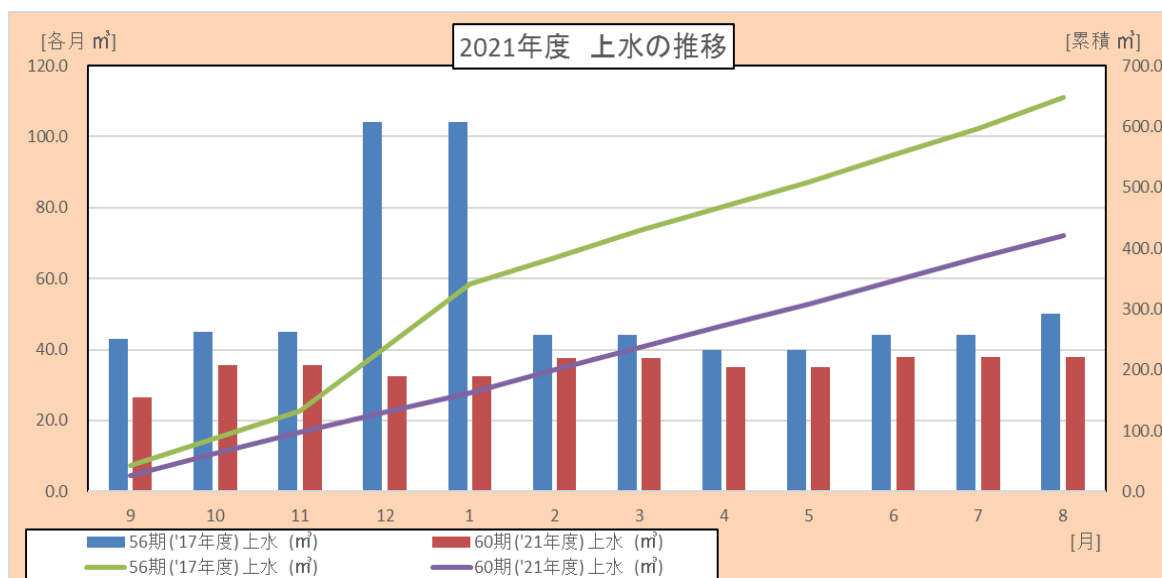
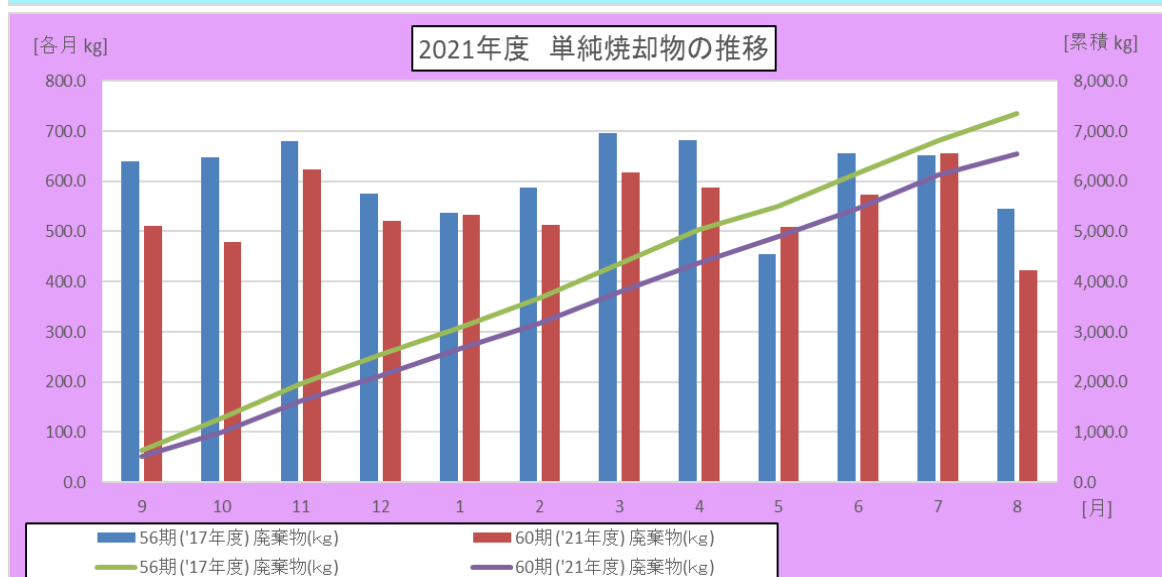
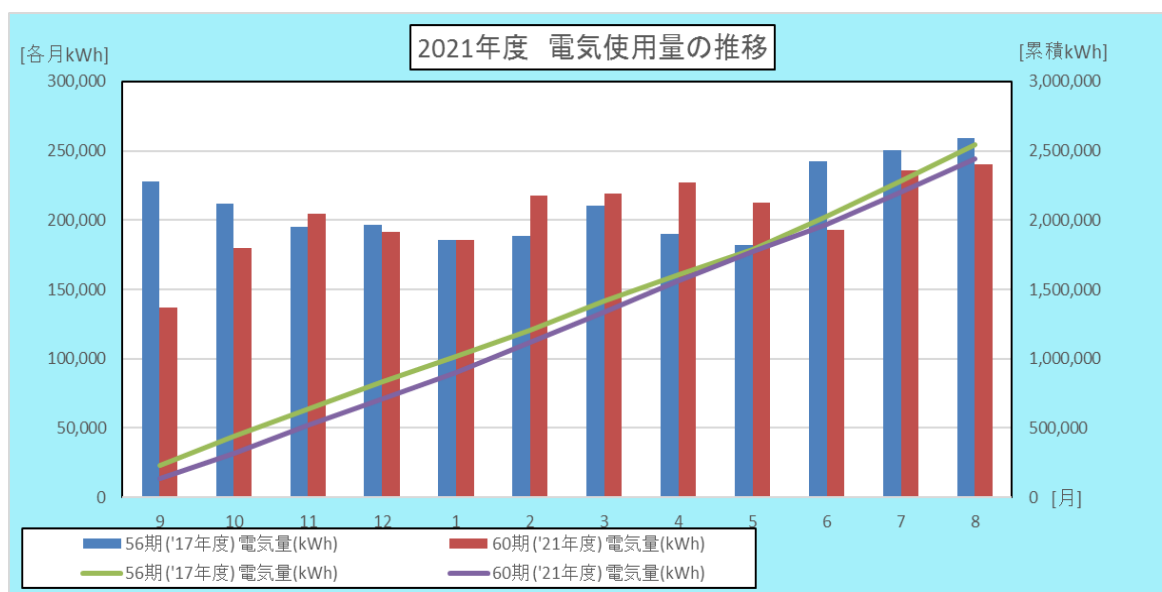
環境配慮型工場として、100kW 容量の太陽光発電設備を屋根に設置しています。今期の発電量の実績は、以下の通りとなりました。



今期は、目標発電量以上の発電量で実績は、125 千 kWh/年となり前年比 2%増で、設置後 5 年間の中で、1 番多い発電量となりました。

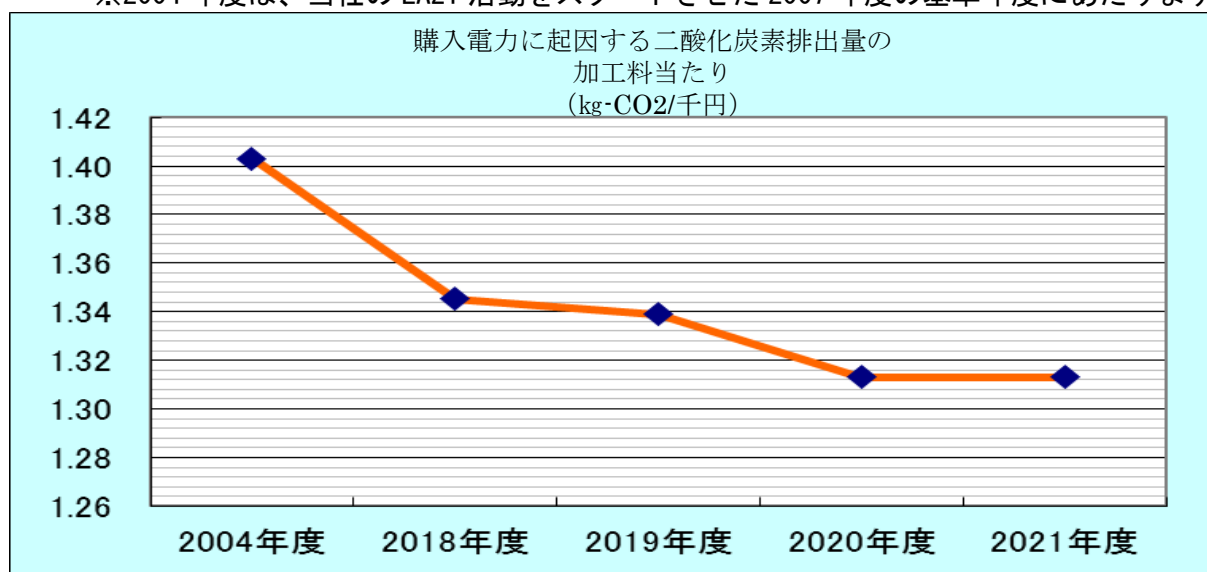
この発電量は、設置している工場の使用電力量の 75%程度をカバーしている計算となります。

◆今期 実績グラフ

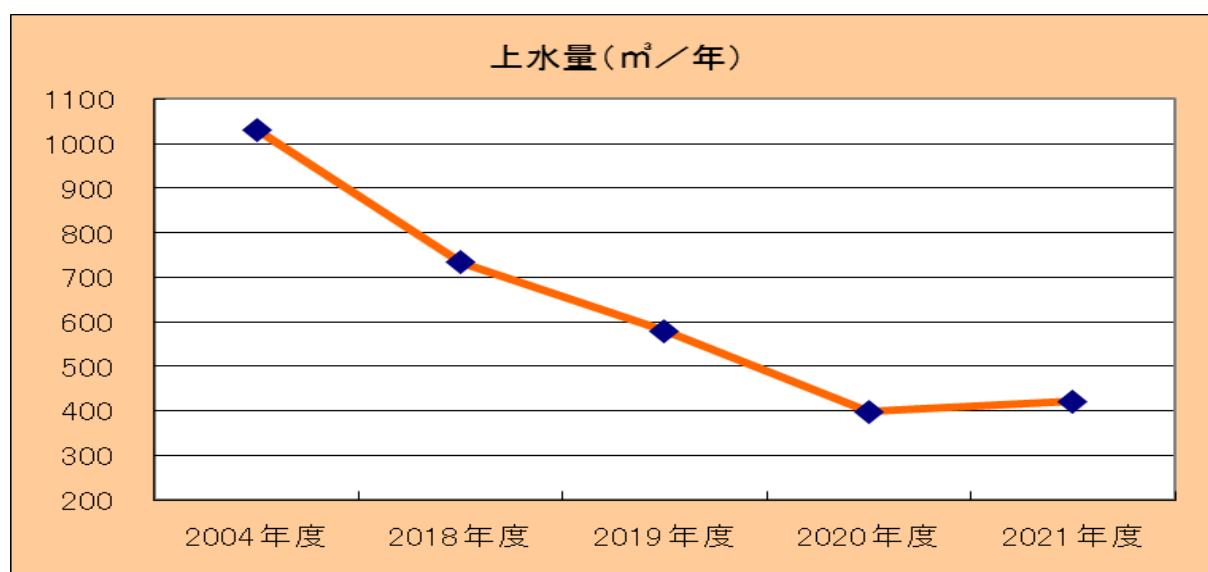
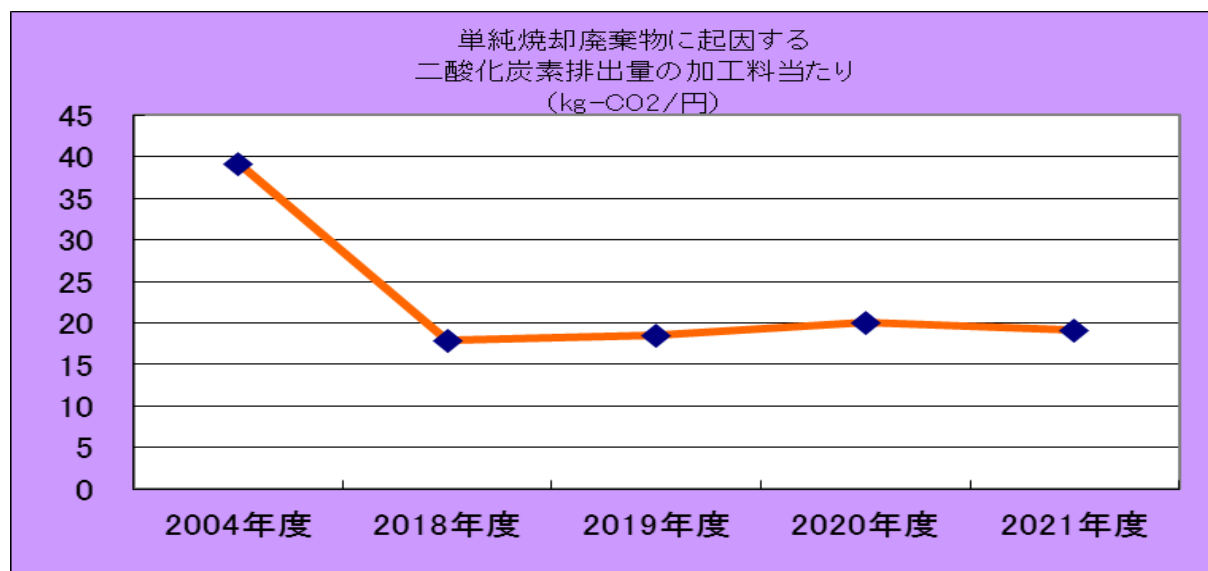


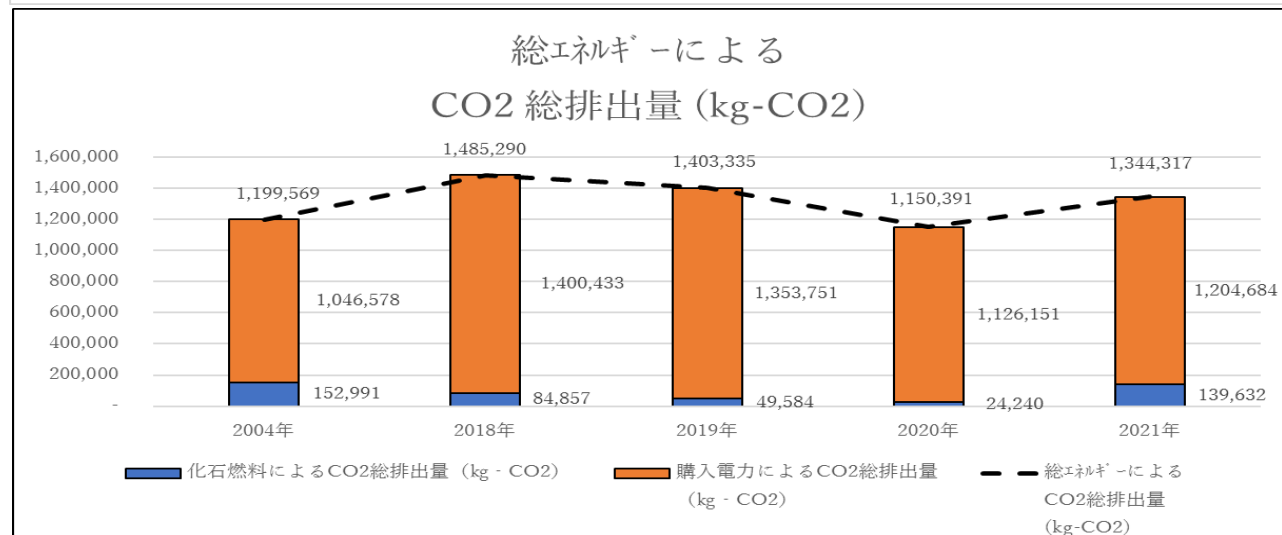
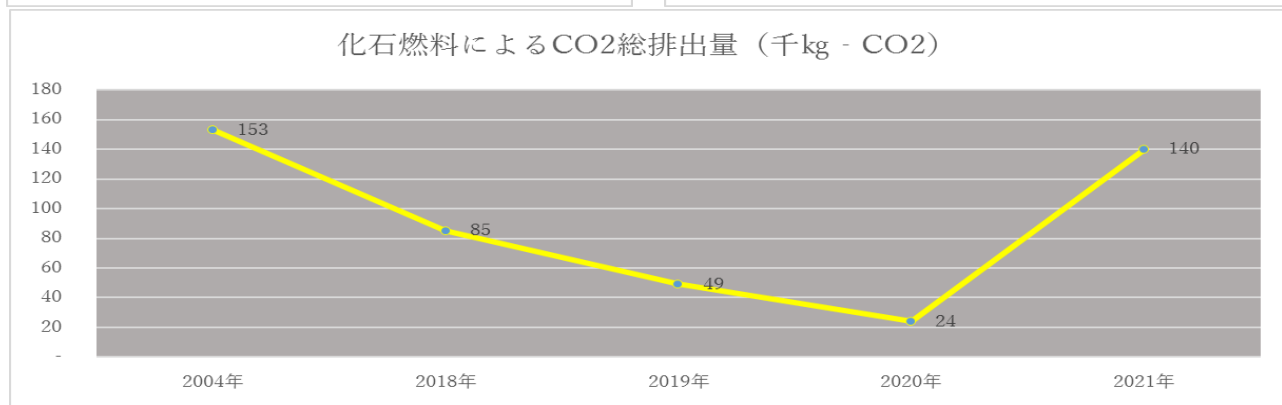
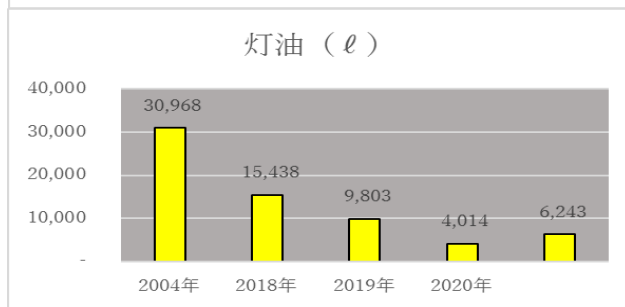
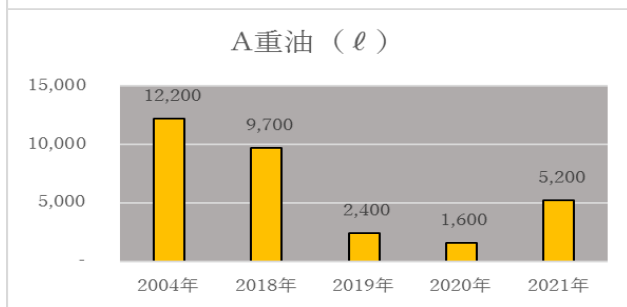
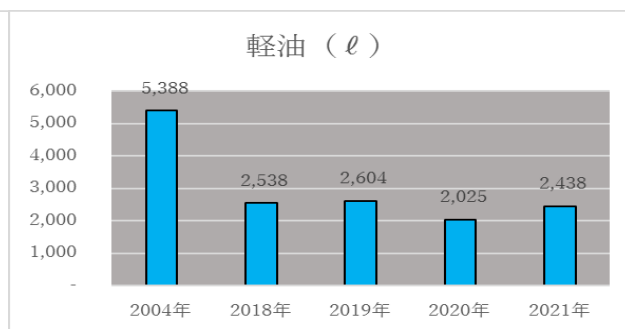
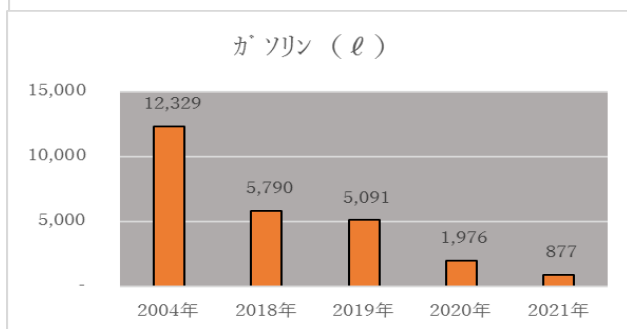
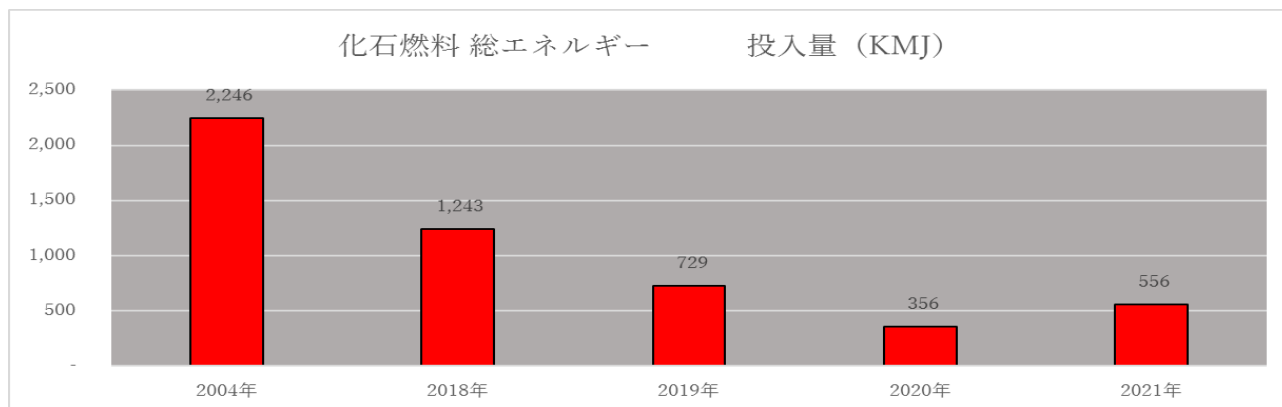
◆EA21 活動数値推移表（抜粋）

※2004年度は、当社のEA21活動をスタートさせた2007年度の基準年度にあたります。



※排出係数は、関西電力2016年度調整後排出係数0.493kg-CO2/kWhを使用しています。





6. 第6次中期環境経営目標計画

2021年9月1日より、第6次中期環境目標計画（2021年9月～2024年8月）がスタートします。

2019年度（‘18/9～’19/8）の実績を基準として目標を設定しています。また、目標数値および実績は下記のとおりです。今期より、一部項目において原単位の見直しを行っています。

項目	2019年度(基準年度) (‘18/9～’19/8)	2022年度 (‘21/9～’22/8)	2023年度 (‘22/9～’23/8)	2024年度 (‘23/9～’24/8)
	実績	目標	目標	目標
購入電力に起因する二酸化炭素排出量の社内加工料当たり (kg-CO2/千円)	2.111	2.100	2.090	2.079
単純焼却廃棄物に起因する二酸化炭素排出量の加工料当たり (kg-CO2/円)	43.02	41.73	41.30	40.87
上水量 (m ³ /年)	580.0	435.0	432.1	429.2
5S改善活動 (点/年以上)	65.2	66.0	66.5	67.0
ロス率の低減 (%)	7.50	6.50	6.49	6.48
化学物質の適正管理 (AK-35 (PRTR法非該当)) 使用量計測	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済
環境に配慮した織物・燃糸コードの提案 (件/年以上)	2021年度実績 3件	5件以上	5件以上	5件以上
環境保全活動への参加	2021年度実績 24名	前年比10%up	前年比10%up	前年比10%up

【補足説明】

- 第6次中期環境目標（2022年度～2024年度）に使用する原単位は、社内加工料（円）を分母としています。社内加工料とは、当社内で使用する数値で、比較的タイムリーに生産状況を反映する数値であるため、各環境経営項目との整合性を高めるために変更しました。
- 購入電力に起因する二酸化炭素排出量の排出係数は 2019 年度関西電力実排出係数 0.334kg-CO2kWh を使用しています。
- 産業資材用織物、燃糸コードにおいて、環境に配慮した設計・開発の提案を積極的に行い、その提案件数を目標とします。

7.2022年度 環境経営活動の取り組み計画

取り組み計画	目標値
1. 電気量の削減・・・社内加工料対比 (1) 製造部全体の稼働率 UP (2) コンプレッサーの適性運用 (3) 冷暖房の適性運用及びメンテナンス強化 (4) 工場エアコン化の管理強化	目標値 : 2.100 kg - CO2/千円 以下
2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・社内加工料対比 (1) 3Rの徹底(教育訓練) (2) 織物、燃糸の端末部のリサイクル化の周知徹底 (3) ゴミ袋使用量削減の見える化	目標値 : 41.73 kg - CO2/円 以下
3. 上水量の削減 (1) 使用実績を掲示する (2) 節水啓蒙シートを掲示する (3) 10月-2月節水強化期間設定 (4) 冬期水道管の点検強化	目標値 : 435.0m ³ /年 以下
4. 化学物質の適正管理 (1) AK-35 (PRTR 法非該当) の適正管理	設定なし
5. 環境配慮した織物・燃糸コードの提案 (1) 当社自らが設計・開発する提案 (2) 顧客のニーズを基にした設計・開発する提案	目標値 : 5件以上
6. ロス率の低減・・・仕掛総計(生産量)対比 (1) ビーム巻反数の改善 (2) 捨て耳長さの削減(製品を特定する)	目標値 : 6.50%以下
7. 5S改善活動による徹底率の向上・・・5S チェックリスト (1) 4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進 (毎月の全社会議で成果発表) (2) 改善提案提出1件以上/4ヶ月/人の励行 (3) 5S レクチャー強化	目標値 : 66.0点以上
8. 地域環境保全活動への参加 (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加	地域の環境活動参加者 : 25名以上

8. 環境関連法規制の順守状況

1. 当社に適用される主な法規制等と現在までの順守状況

法律及び法令の略称	当社に適用される要求事項	順守状況
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	一般廃棄物・産業廃棄物の保管および運搬	適
	産業廃棄物の運搬・処理の委託	適
	産業廃棄物管理票の運用、交付等の報告	適
騒音規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
振動規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
フロン排出抑制法	簡易点検および定期点検の実施	適
消防法 ・高島市火災予防条例	一定規模以上の事業所に対する規程	適
	第4類危険物の指定数量	適
	指定可燃物の届出	適
	消防用設備等点検結果報告書	適

2. 環境関連法規について

当社の環境関連法規の重大違反はありません。関連当局の違反等の指摘及び住民より苦情も、過去3年間ありません。今後も最新法令を確認しこれを順守します。

9. 2021年度代表者による見直し、指示

第5期中期環境経営計画の最終年度の今期は、コロナ禍での売上減少に歯止めがかかり、下半期から回復基調が鮮明となりました。しかし、一部製品においては納期対応で追われている状態となり、生産と出荷の均衡が崩れ、生産の平準化が出来ず生産効率は悪化したように思われます。

その様な経営環境化の中、EA21の活動は、主要取り組み項目の電力量削減をはじめ単純焼却の廃棄物の削減、上水量の削減は概ね目標値に近く推移し、活動自体は前進しており問題はありませんでした。その他の目標についても同様に、妥当性を確認し、継続して取り組むことにより環境経営システムは前進しています。

しかし、現在「環境経営活動」に用いている原単位（出荷加工料対比）では、在庫状況等によりタイムリーに取組項目の評価が出来ていないことが課題であり、今期は従来から使用していた原単位および新たな原単位での評価を実施しました。その結果、新たな原単位で第6次中期環境計画を立案する事が望ましいという結論に達しました。次期より原単位を変更し、社員の頑張りを一層現せるようにして参ります。

今後も、一層の環境型ものづくり企業として発展できるよう、従業員とともにEA21に取り組んでまいります。

上記を踏まえ、環境経営システムは有効に機能し問題なく継続展開をしていきます。

〔変更の必要性〕

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

環境アルバム



高島経済会
琵琶湖一斉清掃



かぞくみんな
きれいにするぞー



子どもたちも一緒にゾー



子どもに負けず、わたし達も
綺麗にしていまーす。